

令和2年度第1回西予市総合教育会議 会議録

1 開催した日及び場所

令和2年11月24日(火) 午後4時00分から午後4時47分まで
西予市教育保健センター 4階 大ホール

2 出席した構成員

西予市長	管 家 一 夫
西予市教育委員会	
教育長	松 川 伸 二
教育委員	平 岡 長 治
教育委員	古 谷 和 彦
教育委員	酒 井 郁 子
教育委員	梅 川 俊 一

3 会議に出席した職員

(教育委員会事務局)

教育部長	宇 都 宮 裕
教育総務課長	垣 内 俊 樹
学校教育課長	滝 澤 洋
生涯学習課長	竹 内 克 之
スポーツ・文化課長	谷 口 佳 代
明浜教育課長	佐々木 邦 仁
野村教育課長	土 居 文 人
城川教育課長	久 保 田 修
三瓶教育課長	滝 野 広 明
教育総務課長補佐	山 崎 徳 博
教育総務課主任	稲 口 智 博

(市長部局)

総務課長	一 井 健 二
まちづくり推進課長	長 野 静 香
子育て支援課長	松 田 禎 子
まちづくり推進課長補佐	小 野 雅 人

4 傍聴者

なし

5 協議事項

(1) 西予市教育大綱について

(2) その他

6 協議の内容

垣内課長	定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第1回西予市総合教育会議を開会いたします。
管家市長	<p>初めに管家市長からあいさつをいただきます。</p> <p>皆様、本日はご多用中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>昨日は、野村町の乙亥大相撲が行われました。既にご承知のように、無観客で相撲の取組も最小限での実施となりました。169回という伝統を引き継ぎ、愛宕神社に火除けの祈願をする33結びの相撲を取り組んでいただき、本当に多くの地域の方々、西予市内様々などところからのお力をいただき開催することができました。</p> <p>コロナ禍の中、感染が県下で拡大しているという状況であり、参加者の皆様や、会場に足を運んでいただいた皆様が、もしも感染をしたらいけないということで、このような苦渋の選択となりました。そのような中でも、無事に乙亥大相撲を開催することができたのは、西予の地域性、そしてまた、その人間性を育てる教育などの力によるものと思っております。</p> <p>また、平成30年の豪雨災害で、教育施設では、特にせいよ東学校給食センターが、また福祉施設でありますけれども野村保育所の大きな二つの施設が、甚大な被害を受けましたが、先日、16日には皆様ご出席の中で、無事落成式を挙行し、そして本日より、野村保育所では、保育を行うことになっております。そういうことを取りましても、一步、復興に向けて進んでいるのではと感じる次第でございます。</p> <p>本日のこの会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置された会議でございます。既にご承知のこととは存じますが、今一度、西予市教育大綱について</p>

<p>垣内課長 松川教育長</p>	<p>ご協議をいただき、またその他につきましても、全般的にご審議を賜る場でございます。西予市における教育の諸問題等につきましても、活発な意見交換の場になりますよう、よろしくお願いを申し上げまして、私の開会のご挨拶といたします。</p> <p>続きまして、松川教育長があいさつを申し上げます。</p> <p>管家市長におかれましては、お忙しい日程を割いていただいた本日の総合教育会議の開催、誠にありがとうございます。日頃より当市教育行政の推進に、深いご理解とご支援をいただいておりますこと衷心より厚くお礼申し上げます。</p> <p>また、今ほども触れられましたが、一昨年の7月豪雨災害の復旧復興に邁進され、教育施設の復旧復興につきましても、大和田公民館や、乙亥会館、そしてせいよ東学校給食センターなど、特に野村町地域の被災施設につきましても、ほぼ復旧工事を終わらせていただきましたこと、重ねて感謝を申し上げます。施設の運営を担っております教育委員会としましては、十分なる利活用を図りながら、西予市の教育行政の発展に努めて参る所存でございます。</p> <p>さて、この総合教育会議でございますが、市長と教育委員会が一堂に会して、本市の教育行政の課題を共有し、協議・調整を行う、大変重要な会議であると認識をしております。</p> <p>現在、未来の西予市の在り方を見据えた中で、公民館の地域づくり活動センター化ということ、市の重要施策として、市と教育委員会が一体となり、市民の皆様の意見をお聞きしながら取り組んでいるところでありますが、今後ますますその連携強化が、重要になって参ると感じているところでございます。</p> <p>また、一方では、新型コロナウイルス感染症の影響で、新たな日常というものも求められているところでありまして、教育分野におきましても、ICTを効果的に活用した教育に力を注いでいるところでもございます。</p> <p>社会が大きく変動する中で、この会議で議論を行うことによって、今、本当に必要な教育施策をスピード感を持って、実現ができるのではないかと考えているところでございます。</p> <p>忌憚のない意見を交わさせていただくことによって、今後の教育行政に生かして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>協議事項に入ります前に配布しております資料について、</p>
<p>垣内課長</p>	<p>協議事項に入ります前に配布しております資料について、</p>

<p>管家市長</p>	<p>説明をさせていただきます。</p> <p>(資料について説明)</p> <p>それでは、協議事項に移らせていただきます。</p> <p>ここからの進行は、西予市総合教育会議運営要綱第4条第1項により、管家市長にお願いいたします。</p> <p>本会議を主催する立場から進行を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。</p> <p>まず、協議事項(1)についてでございます。西予市教育大綱については、今回見直しを行うことといたしました。事務局から説明をいたしますので、そのあと、皆様からご意見をいただきたいと思っております。それでは説明をお願いいたします。</p>
<p>垣内課長</p>	<p>資料の西予市教育大綱新旧対照表をご覧ください。</p> <p>この大綱は、西予市教育振興基本計画の骨子となる部分を教育大綱として位置づけ、整理したものでございます。</p> <p>まず、3ページをお開きください。「2 大綱の期間」は、市長の任期が4年であることや、参酌の対象である教育振興基本計画の対象期間が5年であることに鑑み、大綱の計画期間は4年から5年程度と想定されておりますので、この大綱の計画期間は5年としております。</p> <p>次に4ページをお開きください。基本理念を、「ふるさとの未来へつなぐ人づくり」とし、基本目標を「夢を育み 未来へつなぐ 西予っこ」、「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」としまして、その下に五つの基本方針を定めております。</p> <p>5ページからは主な施策の内容となっております。</p> <p>なお、今回新しく6ページの基本方針Ⅰの⑧に、「地元高等学校との連携を強化し、学校が取り組む活動を支援することで、生徒の郷土愛の更なる醸成を図ります。」の内容を追記しております。</p> <p>以上、教育大綱の概要説明とさせていただきます。続きまして、教育委員会の各課から施策の内容の変更点等の説明を申し上げます。</p>
<p>滝澤課長</p>	<p>学校教育課からは、基本方針Ⅰの⑥の部分です。ページは6ページになります。</p> <p>令和元年度より、学校と地域とのつながりを強め、地域とともにある学校づくりを目指し、コミュニティ・スクール事</p>

竹内課長	<p>業が始まりました。それを受け⑥の内容について、追加しております。</p> <p>生涯学習課は7ページからになります。</p> <p>基本方針Ⅲの①ですが、地域における公民館の在り方や役割が、地域づくりや地域活性化へと少しずつ変わってきております。</p> <p>そのような背景を踏まえて、本市でも公民館の地域づくり活動センターへの移行について、市民検討委員会の方でご検討いただいているところです。</p> <p>ここでは、今現在、公民館が地域の学習拠点であることを大前提といたしまして、新たな時代の要求が様々な角度から見えてきている中で、それらを踏まえた学習の充実が、地域のために重要であるという観点で修正をしております。</p> <p>次に②ですが、家庭・地域での教育の重要性等、それによって、どのような青少年を育てていくのかということに記載いたしました。</p> <p>③は、人権教育についてですが、福祉的な観点も含んだ形で、地域共生社会の実現の中で、市として人権を考えていこうという意味を込めて、変更をさせていただいております。</p>
谷口課長	<p>スポーツ・文化課は資料の8ページになります。</p> <p>基本方針Ⅳの①ですが、より具体的な記述に修正いたしました。</p> <p>次に基本方針Ⅴの①を、より広く総合的な視点でスポーツ振興を行うという考えに修正しております。</p> <p>また、②については、えひめ国体を終えてその後の展開として、第2次西予市スポーツ振興計画の基本目標にも掲げている内容に修正いたしました。</p>
管家市長	<p>以上で事務局の説明は終わりました。ここからは各教育委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。</p>
酒井委員	<p>基本方針Ⅰの中で、今回新たに、「地元高等学校との連携を強化し、学校が取り組む活動を支援することで、生徒の郷土愛の更なる醸成を図ります。」という項目が追加されております。</p> <p>西予市内に高等学校が分校を含めると3校、特別支援学校が1校の県立学校がある環境を生かし、何らかの連携を持つことは多方面において意義があることだと思います。</p>

<p>管家市長</p>	<p>現在、「公営塾」という事業があり、学習支援と地域学を行っていると聞いていますが、現状や今後の展望についてお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>現在、市では高校魅力化事業の一環として、三瓶分校において公営塾を設置しております。</p> <p>生徒への学習支援及び学習の定着化、また地域学習などを実施して、分校・地域・行政が協働し、学校の魅力を高めて、来年度の新入生の増加を目指しているところです。令和3年度からは野村高校、そして、令和4年度には宇和高校へも、高校魅力化事業として公営塾を設置していく予定です。</p> <p>公営塾は市内高等学校と連携し、地域資源を活用しながら、学力の向上とともに、社会で求められております思考力・主体性・多様性等を備えた人材の育成ができる場所として、市内高等学校の魅力化につなげ、人口流出の抑制と移住定住促進を図ることを目的としています。</p> <p>公営塾では、地域おこし協力隊員が講師を務めています。三瓶分校では2名の募集をしておりますが、現在のところ1名の方が講師として来ていただいております。</p> <p>協力隊員は、様々な経験を積んでおり、また多方面へのつながりもありますので、協力隊員ならではの外からの視点を伝えることで、受講している高校生が協力隊員を通して、西予市外のいろんな景色を見ることができるとは思わないかと考えております。</p> <p>また、市では県立高等学校魅力化推進協議会を設置し、その中に高校ごとの分科会を設け、高校の将来的な在り方や公営塾の運営について、高校・地域・行政等が意見を交わしながら連携し取り組んでいけるよう進めたいと考えております。</p> <p>現在、三瓶分校では、三瓶高校のOBの方などが中心となり、地域を巻き込んだ地域学を展開し、三瓶地域や三瓶分校の魅力を発信していただいております。先日も、三瓶町の秋祭りを題材にして、その歴史、特徴といったことなどを、オープン講座のような形で取り上げていただきました。</p> <p>また、高校生と一緒に地域の方々にも、人としての生き方といった内容をシリーズで学んでもらうことなど、OBの方を中心に、公営塾と連携しながら一体となって進めていただ</p>
-------------	---

<p>酒井委員</p>	<p>いております。</p> <p>もう一点お伺いしたいと思います。</p> <p>小学校就学へのスムーズな接続を図るため、幼稚園・保育所・小学校・家庭・地域の連携を図っていると思いますが、発達支援の必要な子どもに対して、早い段階で保護者や家庭の支援ができるような体制や行政窓口、支援室や支援センターなどがあれば教えていただきたいと思います。</p>
<p>管家市長</p>	<p>就学前の体制としましては、妊娠期そして、出産後と、育児不安の軽減・解消及び健やかな発育・発達支援のため、随時、対面での相談・電話相談・訪問等を実施しております。</p> <p>その他にも、スマートフォン等のアプリによる相談や、それぞれの時期に応じた子育て情報の発信も行っております。</p> <p>出産後には、4か月・7か月・10か月・1歳6か月・3歳児に健診・相談を実施し、発達支援の必要な子どもの早期発見に努めております。支援が必要な場合は、市の保健師が継続してフォローし、保育所や幼稚園とも連携しながら必要に応じて、発達相談や子ども・女性支援センターによる巡回相談を紹介しております。また、必要であれば、鬼北町にあります南愛媛療育センターや障害児通園支援事業所につながりもあります。</p> <p>就学に向けては、保育所・幼稚園が小学校との連携を図りながら、子どもや保護者への支援を継続している現状でございます。</p> <p>その他にも、福祉総合相談センターによる学校・保育所・幼稚園訪問による情報交換、保護者等からの相談も行っております。相談員による継続的な関わりを行っている事例や、放課後児童クラブを利用する子どもの中で、特に関わりを必要とする場合には、小学校や家庭と連携を図りながら見守り、支援を行っているところでございます。</p> <p>今後の課題としましては、発達支援の必要な子どもを支援するため、切れ目のない一貫した支援を提供するための「発達相談」の体制づくりを確立していく必要があると認識しております。</p> <p>発達支援については、科学的・医学的にもいろんなことが研究をされておまして、様々な機関へつながることが今まで以上に多くなっているという現状がございます。</p>

酒井委員	保護者や支援者が困った時に気軽に相談に行け、支援につなげてもらうことで、安心して子育てができるような体制づくりをよろしくをお願いします。
古谷委員	先ほどの説明でもありましたが、教育大綱の大切さについて、「1 はじめに」の中でも書かれています。 教育大綱の住民や市役所職員への周知は、どのように行うのかお伺いしたいと思います。
山崎補佐	本日の総合教育会議での協議内容を反映させた教育大綱を市民の方にはホームページで公表し、また、職員へは課長会等において周知していきたいと考えております。
古谷委員	周知を徹底していただき、市職員全員が共通認識を持って、教育を推進していただきますようお願いしたいと思います。
管家市長	協議事項「(1) 西予市教育大綱について」につきまして、他にご意見ございませんでしょうか。
全構成員	(特になし)
管家市長	特にご意見がなければ、協議事項「(2) その他」に移りたいと思います。
古谷委員	地域づくり活動センターについてお伺いしたいと思います。 私は、地域づくり活動センター市民検討委員会に委員として出席しています。この話し合いの中で、地域づくり活動センターへ備えるべき機能の一つとして、社会教育は「人づくり学びの場」として位置づけられていますが、社会教育が衰退するのではないかという声が強かったように思います。 このことについて市長はどのように考えられておられるのかお伺いしたいです。
管家市長	古谷委員には、いつも市民検討委員会へのご出席、ありがとうございます。検討委員会の中で活発な意見が出ていると、会議録を見せていただいて感じているところであります。 公民館を地域づくり活動センターとする考えは、これからの人口減少社会を見据え、より小規模多機能自治を推進することによって、地域の皆さんが身近な公共施設である公民館の在り方を見直し、社会教育施設だけでなく、地域づくり活動をより支援する住民自治の拠点へと変えていくものであります。そして、その所管についても市長部局へ移管することで、生涯学習・社会教育の推進だけでなく、防災、福祉、産

	<p>業、観光振興など、様々な行政サービスも展開できるものと考えております。</p> <p>ご質問にもありました、社会教育の衰退についてご心配の声があるようですが、センターに多様な業務が備わることとともに、生涯学習・社会教育の推進を市長部局が推進していくことがご心配される要因かもしれません。</p> <p>現時点での市の考えといたしましては、市長部局に移管しても、その生涯学習・社会教育の推進については、教育委員会との連携の下、推進を図っていく必要があると考えております。</p> <p>また、この総合教育会議の場においても生涯学習・社会教育の推進における助言・指導をいただけるものと期待しております。</p> <p>現在、市民検討委員会においてセンター化における協議を重ねていただいているところでございますが、生涯学習・社会教育の推進についてもご提案いただき、その答申内容を真摯に受け止め、センター化に向けた計画づくりに取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>令和5年4月1日を目標としておりますので、それに向けて準備を進めて参りたいと思っております。</p> <p>ぜひ、市民検討委員会が出された意見に真摯に向き合っていただきたいと思っております。</p> <p>また、現在公民館が行っている地域の行事や事業に、子どもたちが参加する場面があります。このことは、郷土愛の醸成につながるもので、非常に大切なことだと思います。子どもたちが体験できる場を、これから先も確保していただきたいと強く思っております。</p>
<p>古谷委員</p>	<p>子どもたちが、地域の行事や事業に参加して大人と交わりながら、ふるさとの話を聞き、一緒に活動することで、こういう大人になりたいといった経験を積むということは大変素晴らしいことでもあります。</p> <p>また、公民館では子ども同士で活動する力をつける機会として、通学合宿など様々な行事を行っており、センター化となった後も地域の中で取り入れてみるといったいろんなやり方があると思っておりますので、継続して行っていきたいと思っております。</p>
	<p>管家市長</p>

<p>平岡委員</p>	<p>私からは学校の教育活動に対する支援について、お願いをしたいと思います。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの感染防止ということで、学校におきましても、新たな仕事が求められているという現状がございます。そういった中で、今年度は市の方で学校教育活動支援員を学校に配置していただきました。</p> <p>この支援員は、新型コロナウイルスの感染防止のために、学校施設の消毒や、子どもたちの健康観察と健康指導、あるいは学習支援をするといった様々なことに、先生方と一体になって取り組んでいただいています。学校の方の声としても、支援員を配置していただいて非常に助かっているということをお聞きしており、大変ありがたく思っているところでございます。</p> <p>しかし、全国で今、新型コロナウイルスの感染者がまた大変な勢いで広がっている状況でございます。今年度だけでなく、来年度においても、これまでと同様か、あるいはこれまで以上の対応が求められるかもしれません。学校においても、同じような状況になるのではないかと考えております。</p> <p>この学校の教育活動を支援するスタッフを配置することにつきまして、今年度で終わらせることなく来年度4月以降においても、配置していただけたら教育活動がより充実するのではと思いますので、その点どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>管家市長</p>	<p>各学校の学校教育活動支援員の配置についてですが、今年度、学校教育活動支援員とスクールサポートスタッフを合わせると10名を市内の小中学校に配置させていただいております。これは国と県の補助もありまして、市がその費用の2/5を負担することによって配置できるものでございます。</p> <p>一つには新型コロナウイルス感染症の関係によるものですが、今の状況からすると文部科学省においても、来年度もこの事業は継続したいとの意向であると聞いております。それに向けて市も今年度の実績や各学校現場のご意見を聞きながら、人数等の調整をさせていただくこともあるかもしれませんが、手を挙げさせていただきたいと思っております。</p> <p>何らかの配置ができると思いますが、その基準等につきましては、教育委員会学校教育課を中心に基準を作成いただい</p>

梅川委員	<p>た上で取り組みたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p> <p>私からは、教育関連の予算について、質問と要望をしたいと思います。</p> <p>西予市においても、各部門において予算の見直し、削減等が行われていると思ひます。ただ、教育部門に関して、小中学校では、基礎学力をつけるために必要な予算であり、義務教育ですので、全国である程度一定のレベルを満たした教育を学校にお願いしたいと思ひております。教育関連の予算に関して、一律の削減となりますと、教育全般のレベルの低下ということも懸念されます。</p> <p>一概に削減ということではなく、豊かな学校生活や子どもの育成のためにも今後の予算配分等をどのようにお考えいただくのか、お聞かせ願ひたいと思ひます。</p>
管家市長	<p>教育関係の予算については、細かいものについては、削減させていただきますが、大きな予算については、あまり削減はしないように予算査定をさせていただきます。</p> <p>そして今年度、国が4年間で行うことになっておりました、各小中学生にパソコン1台を配布するGIGAスクール構想事業について、1年間で整備をすることになりました。来年度から各学校でも、本格的にそれを使つての授業も始まるのではと思ひております。</p> <p>また、文部科学省の方向性としては、近い将来には全国学力状況テストをパソコンで行うことになるようなことや、令和6年度を目安に紙ベースの教科書からデジタル教科書にするようなことも聞き及んでいます。国の助成もありますが、いろいろな面で変わつてきており、そのような支出が、市としても、今後多くなるのではと考えております。</p> <p>市の来年度の予算については、各団体の補助金の一律5%カットを計画しており、各団体にお願いをしようと考えております。その部分が若干、教育予算に関係するかもしれませんが、できるだけ教育委員会からの要望や、西予の宝であります子どもたちを育むための予算というのは、配分するように努力していきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p> <p>その他につきまして、委員の皆様からご意見ありませんで</p>

<p>全構成員 管家市長 事務局 管家市長 垣内課長</p>	<p>しょうか。 (特になし) 事務局から何かありませんでしょうか。 (特になし) それでは、これで協議の場を閉じたいと思います。皆様ご協力ありがとうございました。 以上をもちまして、令和2年度第1回西予市総合教育会議を閉会します。 本日は、貴重な時間をいただき、誠にありがとうございました。 (午後4時47分閉会)</p>
--	---